令和７年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

令和７年度は、大阪・関西万博の開催で全国から関西エリアが注目を集める一年となった。その中で、関西を拠点とする当財団においてもより一層の交通文化の振興を図るべく各所にて取り組みを進めた。

京都鉄道博物館においては、企画展・資料展や多客期イベントをはじめ、展示品の更新や実物車両の展示、ワークショップなどの博物館活動を展開することにより、当年度の入館者数は 706 千人（対前年 96.8%）となった。

事務局では、交通資料調査センターにおいて、歴史資料の収集・整理・保存、歴史的事物の調査、デジタルアーカイブの運営、外部と共同での講座など、交通の歴史・文化を継承する活動を展開するとともに、事務局ブログ等の web 媒体を活用し、情報発信や寄附金慫慂活動を実施した。

Ⅰ　博物館運営等を通じた交通文化の振興（公益目的事業　公１）

１　京都鉄道博物館

常設展示に加えて、春秋２回の企画展や多客期のイベント、ワークショップ、学び講座などを実施し、大人から子供まで幅広い年齢層に対して鉄道について学ぶ機会を提供した。企画展・イベント等では、大阪・関西万博開催にあわせて万博や海外を意識したテーマを設定し、博物館学芸員が中心となって学術的知見の下で計画・実施した。また、地域や学校団体への協力も行い博物館の教育普及活動の充実を図った。なお、当年度の開館日数は３１４日であった。

(1) 常設展示

ア　新規展示

① 本館 2 階「鉄道と文化」大阪・関西万博展示映像（5 月）、「カシオペア」(6 月)

② 本館 2 階「生活と鉄道」展示入替　103 系通勤電車模型（7 月）、オハネフ 25 形模型（2 月）

③ 本館 1 階、2 階に万博関連資料として「球体 LED モニター」「チョークアート」「大阪・関西万博に向けた JR 西日本グループの取組み」を展示（3 月）

④ 旧二条駅舎に連結器展示（1 月）

⑤ 本館１階「車両工場」等での車両展示

「京都まるごと博覧会」223 系 6000 番台 R02 編成（4/4～6）、KTR800 形 801 号車、キハ 120 形 15 号車、ラッピングバス 5 台（4/4～8）、201 系電車 ND607 編成（5/16～22）、227 系電車 0 番台 S07 編成（6/19～22）、彌榮自動車「京都検定号」(8/19～26)、キハ 47 形ディーゼルカー8087 号車・9051 号車「かわせみ　やませみ」(9/18～23)、JR 貨物 EF510 形 3 号車・コキ 107 形 1401 号車・2078 号車・ヨ 8000 形 8404 号車（11/6～11）、117 系電車 M117 編成「WEST EXPRESS 銀河」(12/18～24)、223 系 2000 番台 V15 編成（2/6～9）、錦川鉄道キハ 40 形 1009 号車（2/11～3/3）、D50 形蒸気機関車 140 号機（3/5～）

イ　展示品整備

鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、運転シミュレータのメンテナンス、体験展示修繕

ウ　特別な車両公開

土曜・日曜・祝日に車内の特別公開を実施した。（毎月１車両）お客様満足度向上のため車内解説付きの公開方法を取り入れ、一部実施した（※印）。

４月０系新幹線電車35形１号車／５月モハ80形電車１号車／６月100新幹線電車122形5003号車／７月クハ489形１号車／８月500系新幹線電車521形１号車／９月、10月※クハネ581形35号車／11月クハ489形１号車／12月※100系新幹線電車122形5003号車／１月キハ81形３号車／２月※500系新幹線電車521形１号車／３月オロネ24形４号車

エ　施設、設備管理

① 消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応

② 大型機器保守点検、防火シャッター点検、AED日常点検及び機器更新

③ エントランス券売機更新、監視カメラ更新、万博レガシーベンチ設置に伴う対応

オ　資料収集

資料受贈26件626点（古レール、ヘッドマーク、京都市営地下鉄駅看板、駅スタンプ、文書類、乗車券類、写真等）

図書室利用3,389人、質問42件(魚住駅付近の貨物輸送、米原駅での蒸気機関車付け替え、駅弁調査、Me163エンジン分解調査相談、京都市電、0系試作車、DD54形の製造会社等)

(2) 企画展、資料展

ア　企画展等

① 企画展「1970年あの頃の交通展」(5/17～7/13)

大阪・関西万博の開催に合わせ、1970年の大阪万博をテーマに、当時と現在、万博を契機に開業・延伸した交通を紹介。国鉄だけでなく関西の各私鉄の建設工事の様子や万博輸送の取り組みを紹介。また、2025年の万博アクセスや関西パビリオン京都ブースの紹介なども行った。関連イベントとして1970年の大阪万博に関する講演会や当時のピクトグラムを使用したスタンプラリー、2025年大阪・関西万博公式キャラクターミャクミャクのグリーティングも開催した。

② 企画展「TRAin ART～アートする世界の鉄道展～」(10/4～1/12)

世界初の公共鉄道がイギリスで開業してから200年となることから、世界の鉄道の広がりや鉄道車両を紹介するとともに、鉄道によって誕生した文化や鉄道ニュースをアートポスターや駅貼り紙面等で紹介した。アートを視点とし、オリエント急行の装飾や日本の鉄道絵画等も展示した。関連イベントとして「歌で彩る鉄道旅」と題し宝塚歌劇出身者による歌唱、台湾の鉄道に関する講演会等を開催した。

③ 館内各所「ＪＴＢ時刻表100周年記念展示」(3/20～8/20) ※令和６度からの継続

④ 台中駅鉄道文化園区・京都鉄道博物館合同企画「台中駅120年～台湾の鉄道～」(4/11～12/7)

⑤ 京都鉄道博物館×国家鉄道博物館写真展「写真から見る　国家鉄道博物館の歩み」(2026/3/19～8/30)

イ　収蔵資料展等

①「英国国立鉄道博物館姉妹提携25年のあゆみ」(4/5～7/27)

②「鉄道と夏のたび、芸術の秋」(8/2～11/30)

③「嵯峨野線」(12/6～3/29)

ウ　収蔵写真展

①「『鉄道ジャーナル』一番すきな表紙を選ぼう」(3/29～8/3) ※令和６年度からの継続

②「世界から日本へ！輸入された鉄道たち」(8/9～12/7)

③「1970 年代の鉄道風景」(12/13～4/5) ※令和 8 年度へ継続

(3)イベント等

ア　集客イベント

①春イベント「きかんしゃトーマスの世界展～はたらく機関車たちのお話～」(3/15～5/6) ※令和 6 年度からの継続

②夏イベント「きかんしゃトーマスとなかまたち in 京都鉄道博物館」(7/19～9/23)

③JR 西日本×HRC×京都鉄博コラボイベント「レーシング＆レールウェイ ヒストリー」(10/23～12/21)

④春イベント「プラレールフェスティバル in 京都鉄道博物館」(2/21～5/6) ※令和 8 年度へ継続

イ　地域連携イベント（館内実施）

①「救急防災フェア in 京都鉄道博物館」 (9/7)

②「献血 in 京都鉄道博物館」(2/22)

③「陸上自衛隊 in 京都鉄道博物館」 (2/28)

④「第 25 回京都さくらパレード」 (3/20)

⑤ヤサカタクシー「京都鉄道博物館 10 周年号」運行開始記念特別展示 (3/28)

ウ　地域協力イベント（館外実施）

「MOMO テラスイベント」(7/27)、「ND フェス&ホームカミングデー」(10/26)、科博連「サイエンスフェスティバル」(2/2)、京の夏の旅・京の冬の旅「観光施設とくとくサービス」、歴史街道ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ、京都ﾐｭｰｼﾞｱﾑﾛｰﾄﾞｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ

エ　鉄道の日イベント

①「京都鉄博音楽会」(10/11)

②広田尚敬氏スペシャルトークショー「国鉄無煙化 50 年記念蒸気の時代」「広田尚敬が撮った！梅小路の蒸気たち」(10/25、26)、櫻井寛氏特別講演会 (11/22)

③ナイトミュージアム (10/24～26)

④記念硬券配布 (10/14～)

オ　定例イベント

①開館 9 周年記念イベント (3/28～5/31) :記念式典、大瀬戸千嶋コンサート、記念硬券配布、記念フォトスポット、ウメテツグリーティング等

②新春 SL 頭出し展示 (1/2～12)

③京都鉄博 LINE 公式アカウント友だち限定大感謝 DAY!! (3/21)

カ　その他イベント

①入館者 700 万人セレモニー (6/8)

②「駅メモ！」シリーズ×JR 東海コラボキャンペーン「新阪ルナお誕生日イベント」 (9/12～10/31)

③寝台特急「あかつき」誕生 60 周年記念イベント (9/30～2/27)

④「ペットと一緒に！京都鉄道博物館」 (11/26)

⑤「京都鉄道博物館のお店を回ってみよう！シールラリー」(1/19～2/28)

⑥スキマモリイベント (2/14)

⑦「世界のミャクミャク展」(3/19～3/31)

⑧開館 10 周年記念館内装飾 (3/19～)

(4) 定例行事・活動

ア　鉄道ジオラマの運転　：2,275 回、観覧者数 257,216 人（約 113 人／回）

イ　ＳＬスチーム号の運転：運転回数 16,477 回、乗車人員　192,957 人（約 117 人／回）

(5) 広告・宣伝・誘致活動

項　　目	数　　量
ア ＪＲ媒体	
(ｱ) ポスター等の掲出	（イベント、通年ポスター）　６件
(ｲ) デジタルサイネージ等の掲出	６件
(ｳ) 西 NAVI、ウエスト倶楽部会報誌等の掲載	６件
イ チラシの配布（通年、イベント）	０件　０枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 （関係記者クラブ、出版関係各社等）	合計約 230 箇所へ配布　　51 回
エ 誘致活動	
(ｱ) ホームページアクセス件数	2,088,475 件(平均 5,720 件/日)
(ｲ) フェイスブック投稿件数	219 件(平均 18.2 件/月)
(ｳ) マスコミ取材対応	323 件
(ｴ) LINE@による情報配信	
・お友達登録数	106,232 人（年度末総累計）
・情報配信（クーポン配信含む）	12 件(1 ヶ月平均 1 件)
(ｵ) インスタグラム投稿	202 件（1 ヶ月平均 16.8 件）
(ｶ) Ｘ投稿件数	354 件(1 ヶ月平均 29.5 件)

(6) 教育普及活動

ア　ワークショップ等の実施

①車両解説セミナー：「０系新幹線電車」(6/21～22)、「キハ 81 形 3 号車」(10/18～19)、「D50 形蒸気機関車」(3/7～8)

②展示品解説セミナー：「通票閉塞器」(4/19～20)、「硬券印刷機」(5/5～6、1/17～18)

③工作教室：「ブロックで作ろう！！コンテナ列車！！」(11/16～17)、「プラ板に描く鉄道の世界」(12/20～22)、「鉄道車両の缶バッジをつくろう」(2/21～22)

④鉄道おしごと体験：運転士(4 回)、車掌(5 回)、駅(5 回)、車両･機械･電気･信通･保線･指令（各 1 回)

⑤特別な車両公開　車両解説付きツアー（10 月開始、午前のみ開催)

⑥その他：キッズワークショップ「時刻表で日本縦断の旅に出よう！！」(7/12～13)、「時刻表編集の舞台裏」(7/26)、「まきじゃくと歩く鉄道の博物館」(8/5～7)、鉄道映像上映「撮り下ろしドクターイエロー！！」(9/20～21)

イ　講演会等の実施

①「おとなの学び講座」：(5/17, 6/8, 7/17, 9/18, 10/16, 11/1, 12/7, 1/15, 2/12)

②３館長トークショー（11/24 リニア・鉄道館、1/11 鉄道博物館、3/14 京都鉄博)

ウ　実習等の受け入れ

①学芸員実習６名（8/25～30　8/27 休）、博物館学課程講義（5/11 来館）
②SDGs プログラム　入門編２校、初級編２校、中級編１校、上級編１校
③職業体験：11 名（5 月、9 月、11 月、1 月に実施）
（京都市）八条中学校、蜂ケ岡中学校、七条中学校東山泉小中学校
④学校授業への協力：（来館）小学校 1 校、中学校 4 校
（出講）小学校１校

エ　外部講座への出講
①京都産業大学課題解決型科目（前期）
②日本鉄道車両機械技術協会中国支部（8/29）、大阪府高齢者大学校（10/17）、日本信号久喜事業所（10/18）、京都大学工学部機械系工学会（11/8）、AW 検定協会（11/20）、日本 IT ストラテジスト協会（11/24）ほか
③京都市観光協会ツアー（２種６回）、まいまい京都主催ツアー（５回）、その他開館前ツアー等の開催（16 回）

(7)　博物館関係コミュニケーション活動等
ア　全国博物館館長会議(7/2)、全国博物館大会(11/19～21)、京都市内博物館施設連絡協議会総会(6/18)、京都市科学系博物館等連絡協議会総会（9/19）
イ　全国科学博物館協議会「令和６年度第１回総会」(7/3～4)、「令和６年度第２回総会」(2/17～18)
ウ　京都市観光協会総会（6/18）、京都市内博物館施設連絡協議会総会（6/19）
エ　山口県立山口博物館「山陽新幹線展」開会式、展示解説（7/18～19）、かかみがはら航空宇宙博物館視察対応（2/6）
オ　台湾国家鉄道博物館ほか訪問（12/8～12）
カ　行政等の視察受け入れ（主なもの：文化庁長官視察対応（9/22）、登録博物館専門家調査対応（10/14）、山形県議会議員（11/13）、王寺町観光協会（2/7）
キ　台湾国家鉄道博物館準備処との交流協力協定締結（3/19）

(8)　施設時間外利用
ア　休館日貸切利用：3 件…ナブテスコ株式会社（10/15）、日本保育協会（11/5）、株式会社ロボット（3/11）
イ　時間外貸切利用 14 件…京都府市町村職員厚生会（8/16）、国際先天代謝異常学会（9/5）、京都銀行従業員組合（11/1）、日本自動車連盟（12/13）、本田技研株式会社（12/20）、株式会社式会社ＴＯＰ（3/26）等

(9)　その他
ア　施設改良工事にかかる事
・エントランス券売機改修に伴う検討及び設置対応
・旧二条駅舎耐震補強に関する検討会
・監視カメラ等セキュリティ改修にかかる検討会
イ　運営協力会社にかかる事
・ＶＲ館運営検討会

ウ　職員研修にかかる事

・人権研修「高齢者を考える」（6/26）

・「カスタマーハラスメント研修」（2/13）

（10）　入館者数の状況　（入館者数の詳細は「別表１」のとおり。）

（単位：千人）

項　　目	京都鉄道博物館
令和７年度	７０６

2　事務局における文化遺産調査及び交通資料の収集・保存に関する事項（交通資料調査センター）

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局内の交通資料調査センターにて引き続き活動を実施した。資料収集においては国内各地の個人からの寄贈申出を幅広く受入れるとともに、それら資料の整理・保存、歴史的事物の調査を継続的に実施した。また、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の公開や、外部の企画への調査・資料協力、セミナーなどを通じて交通の歴史資料を保存する意義の社会への浸透を図った。

(1) 交通関係歴史資料の収集・保存・活用

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行い、写真資料や文書資料、錦絵、古地図等の収蔵資料のデジタル化作業を実施した。また、資料の適性に合わせた保存環境の整備を進めた。

・図書・資料の購入 41 点

・受贈　64 件　11,173 点

・資料・図書の整理・登録　522 点

・資料のデジタル化　　15,969 点

・資料の修復・整備　　163 点

(2)デジタルアーカイブの運営

交通資料調査センターの所蔵資料を web にて公開する、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」に掲載データの追加等を実施した。

令和７年度末点数　18,075 点

令和６年度末点数　17,507 点

年度内追加点数　　568 点

(3) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。また、鉄道の歴史遺産について紹介する記事を、外部が発行する情報紙に寄稿し鉄道遺産に関する情報の周知を図った。（年６回掲載）

調査事物：１２件

(4)講座・セミナー

外部と共同で明治時代の鉄道と鉄道遺産に関する講座を開催するとともに、youtube を利用して動画により歴史遺産を紹介する web セミナー・見学会の配信を実施。講座では歴史資料の魅力を体感できるよう、参加者が実物の資料を手に取ることができる機会も設けた。(講座 11/29 開催、動画配信 3/18 開始　参加・視聴は無料)

(5) その他

・財団ホームページの「事務局ブログ」やＳＮＳを活用し、収蔵資料等に関する情報発信を行った。
・事務局内に図書の閲覧スペースを設置し、閲覧対応及び調査・研究への協力を実施した。
・博物館等に対して所蔵する資料、画像の貸出を行い資料の活用を進めた。
・各活動は、博物館学芸員資格者と準デジタルアーキビスト資格者により実施するとともに、外部有識者との連携も行うことにより、活動における専門性・公益性の担保及び内容の充実を図った。

Ⅱ　財団運営に関する事項

1　本年度の役員等の異動

(1)　評議員

《退任》	飯田　稔督、久保　俊一	以上　令和７年６月 16 日付
《新任》	小石　智之、須々木　淳	以上　令和７年６月 16 日付

(2)　理　事

《退任》	髙畠　雅彦、前田　昌裕	以上　令和７年６月 16 日付
《新任》	松岡　俊宏、山根　久資	以上　令和７年６月 16 日付

(3) 監　事

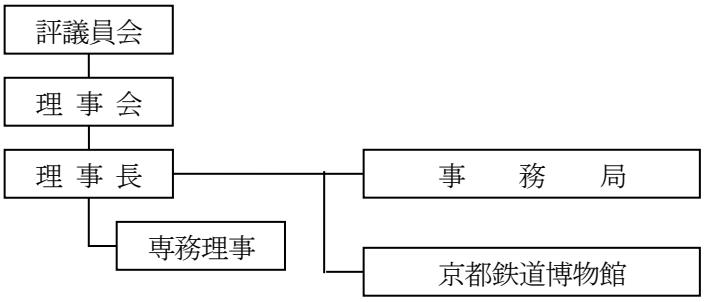
《退任》	小嶋　裕之、竹山　健二	以上　令和７年６月 16 日付
《新任》	古田　清和	以上　令和７年６月 16 日付
	中尾　充孝	以上　令和７年６月 19 日付

令和８年３月 31 日現在の評議員、理事、監事は[別表２]のとおりである。

2　財団組織

(1)　組　織

（令和８年　３月 31 日現在）



(2)　構成員

（令和８年　３月 31 日現在）

事業所名	職　員	嘱　託	計
事　務　局	4	－	4
京都鉄道博物館	18	－	18

・役員を除く。
・京都鉄道博物館の職員のうち１名はＪＲ西日本からの出向者。
・京都鉄道博物館の職員のうち２名は事務局兼務。
・上記以外に事務局にて臨時雇用員を１名、京都鉄道博物館にて準職員１名、臨時雇用員２名を雇用している。

(3) 会　議

ア　評議員会

第 22 回評議員会（定時評議員会）

(ｱ) 日　　時　　令和７年６月 16 日

(ｲ) 場　　所　　ホテルグランヴィア大阪

(ｳ) 目的事項

① 決議事項

第１号議案　令和６年度決算の件

第２号議案　評議員２名の選任の件

第３号議案　理事７名の選任の件

第４号議案　監事２名の選任の件

第５号議案　常勤理事の報酬額決定の件

② 報告事項

報告１　令和６年度事業報告の件

イ　理事会

第 49 回理事会

(ｱ)　日　　時　　令和７年５月 22 日

(ｲ)　場　　所　　ホテルグランヴィア大阪

(ｳ)　目的事項

①決議事項　第１号議案　令和６年度事業報告の件

第２号議案　令和６年度決算の件

第３号議案　第 22 回評議員会（定時評議員会）招集の件

②報告事項　報告１　職務執行状況報告の件

報告２　西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件

報告３　資金運用報告の件

第 50 回理事会（みなし決議）

(ｱ) 提案者　　理事　長谷川　一明

(ｲ) 提案の内容　　第１号議案　代表理事理事長及び代表理事専務理事の選定の件

第２号議案　理事長に事故があるときの順序の件

第３号議案　重要な使用人選任の件

(ｳ) 決議があったとみなされた日　令和７年６月 16 日

（監事による異議（定款第 38 条第２項）なし）

第 51 回理事会

(ｱ)　日　　時　　令和８年３月４日

(ｲ)　場　　所　　ホテルグランヴィア大阪

(ｳ)　目的事項

①決議事項　第１号議案　令和８年度事業計画書の件

第２号議案　令和８年度収支予算書の件

第３号議案　令和８年度資金調達及び設備投資の見込みの件

第４号議案　使途等を指定した特別寄附金受入れの件

第５号議案　西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の承認の件

第６号議案　基本財産追加の件

②報告事項　報告１　職務執行状況報告の件

(4)　内閣府へ届出

・令和７年６月 30 日　事業報告等の提出

「令和６年度財産目録」「令和６年度貸借対照表」「令和６年度正味財産増減計算書」等

・令和７年７月 31 日　　変更の届出（役員等の変更）

「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等

・令和８年３月 31 日　事業計画書等の提出

「令和８年度事業計画書」「令和８年度収支予算書」「令和８年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「当該事業年度開始日において行う公益目的事業の種類及び内容、収益事業の種類及び内容について記載した書類」、「第５１回理事会議事録の写し」

(5)　法人の運営体制の充実を図るための取り組み

・外部理事については、長年にわたり運輸行政及び鉄道車両関係団体にて活躍し、当財団の事業に関して高い知見を有する人物を選任し、事業活動の充実を図った。

・外部監事については、公認会計士及び税理士であるとともに大学教授として多数の実績がある人物を選任し、経理的基礎の充実を図った。

・コンプライアンス違反等に対する外部相談窓口の設置を継続することにより、相談・通報がしやすい環境の維持を図った。

3　寄附金の受入れ

(1)受入れ

個人及び団体より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

・一般寄附金　個　人２６件（うち継続寄附６件）
　　団体等　１件

・特別寄附金　１件　（受入日令和８年３月３１日）
　　使途等の指定あり
　　（公益目的事業の基本財産として管理し、その運用益を交通資料調査センターが行う資料の収集・保存・調査や文化財の調査に使用）
　　金額　2,000,000,000 円
　　寄附者　西日本旅客鉄道株式会社

(2)慫慂活動

・ホームページ及び事務局ブログによる寄附お願いの掲載・発信

・団体、個人へのパンフレットの配布

・寄付月間（12 月）の賛同パートナーへ登録し、パンフレット・オリジナルカレンダーの送付等の慫慂活動を実施。

4 その他

(1)財団事務局ブログ運営

・更新 39 回、年度累計 41,500PV

(2)職場におけるハラスメント防止の取り組み

・ハラスメント防止に関する研修やハラスメントへの対応方針の周知を実施。

・外部相談窓口の継続的運用

(3)他の公益法人等との連携

・関西財団のつどい(9/8、2/13)

(4)職員への永年勤続表彰　勤続25年1名、勤続15年1名

(5)大阪市より女性活躍リーディングカンパニー認証を取得

Ⅲ　関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円

項　　目	物品販売収入	営業料収入	計
金　　額	5,021,700	23,391,178	28,412,878

［別表１］

令和７年４月１日～令和８年３月 31 日

	種　　別		令和７年度 （千人）
京都鉄道博物館	個人	大　　人	４５７．９
		大学生・高校生	２０．１
		中学生・小学生	８０．２
		幼　　児	８６．２
		計	６４４．４
	団体	大　　人	２３．４
		大学生・高校生	１．７
		中学生・小学生	１７．３
		幼　　児	１９．５
		計	６１．９
	合　　計		７０６．３

［別表　2］

評　議　員　名　簿

氏　名	現　　職
木村　法雄	東日本旅客鉄道株式会社　常務執行役員
小石　智之	公益財団法人鉄道総合技術研究所　専務理事
正司　健一	神戸大学名誉教授
須々木　淳	西日本旅客鉄道株式会社　理事地域まちづくり本部地域共生部長
南條　正幸	関西鉄道協会　専務理事
吉江　則彦	京都駅ビル開発株式会社　監査役

理　事　名　簿

役　職	常勤 ・非常勤	氏　名	現　　職
理 事 長	非常勤	長谷川一明	西日本旅客鉄道株式会社　代表取締役会長
専務理事	常勤	松岡　俊宏	公益財団法人交通文化振興財団　専務理事
理　事	非常勤	齋藤　俊樹	東日本旅客鉄道株式会社　執行役員総務・法務戦略部長
理　事	非常勤	佐伯　　洋	一般社団法人日本鉄道車輌工業会　参与
理　事	非常勤	増原　尚二	公益財団法人日本交通公社　理事
理　事	非常勤	皆川　真寛	西日本旅客鉄道株式会社 理事経営戦略本部ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部長
理　事	非常勤	山根　久資	九州旅客鉄道株式会社　常務執行役員総務部長

監　事　名　簿

役　職	常勤 ・非常勤	氏名	現　　職
監　事	非常勤	中尾　充孝	西日本旅客鉄道株式会社　理事経営戦略本部財務部長
監　事	非常勤	古田　清和	公認会計士・税理士

令和８年３月 31 日現在　五十音順（敬称略）

令和７年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。

令和８年５月

公益財団法人交通文化振興財団